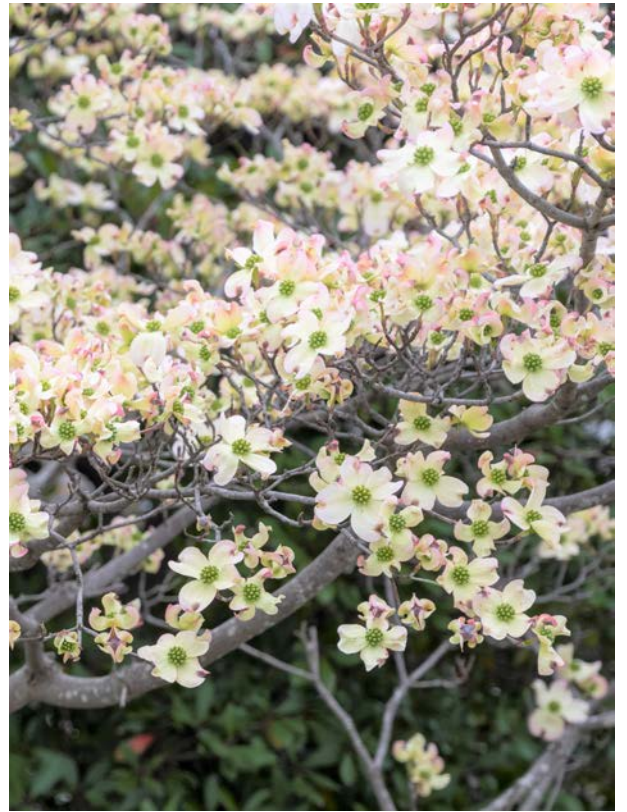


ハナミズキ

ミズキ科・サンシュユ属（落葉高木）



特徴

明治に、日本がアメリカに桜の苗木を贈った返礼として、日本に贈られたのがハナミズキです。落葉樹で4～10mぐらいに生長し、極端に寒さの厳しい地域以外の場所なら育てることが出来ます。4月から5月にかけて咲く花には赤・白・ピンクがあり、家庭の庭以外でも、街路樹や公園樹として大変人気のある花木です。葉は枝の先に楕円形についています。10月頃には赤い実をつけ、10月中旬～11月上旬には紅葉を楽しむことができます。花に見える部分は花弁ではなく、葉が変形した総苞（そうほう）で、実際の花弁は総苞よりも中にあります。

場所

庭植えでも、鉢植えでも育てられます。日当たりがよく、水はけの良い場所を好みます。半日陰でも育ちますが、日当たりが少ないと花つきが悪くなります。

用土

水はけのよい土が適しています。庭植えの場合、砂利や赤玉土、腐葉土を撒いておきます。鉢植えの場合は、赤玉土小粒7～8、腐葉土3～2の割合で混ぜた土を使います。

水やり

庭植えの場合は、根付いてからは特に水をやる必要はありませんが、真夏は水切れに注意し、朝夕には水を与えます。鉢植えの場合は、表土が乾いたらたっぷり水を与えます。

肥料

1月から2月頃、8月下旬から9月に肥料を適量の与えます。肥料が不足すると花つきが悪くなります。

植え付け

落葉後の12月から3月に行い、鉢植えの場合は、2～3年に1回植え替えます。地面に苗木の根鉢より2倍ほどの植え穴を掘り、掘りあげた土に腐葉土、肥料などを混ぜ合わせます。混ぜ合わせた土を植え穴の3分の1程戻し、そこに根鉢を少しくずした苗木を置き、残りの土を戻して埋めます。植え穴と同じ大きさに土を高く盛り、苗木の周りが水が溜まるぐらいの水鉢を作り、水を入れます。植木を左右に少しゆらしながら水を注ぐと土中の空気が抜けます。水が引いたら支柱をたてます。

剪定

庭のスペースがあるなら自然樹形で育てます。小型にしたい場合は12月から3月の落葉後、見やすい高さで主幹の頂部を切りつめて止めます。込み合った枝等、不要な枝は分岐点の上から切ります。